

第5回市民検討会議での主な意見

令和7年9月30日開催

■施設配置・ゾーニングについて

【周辺との連携について】

- ・道の駅に加えて港との連携も重要。駅前から、船場公園の一部を潰し、井原水産前の道路までつなぐ新しい道路を作ってはどうか。上記道路を作れば、道の駅・公園も含めた周囲の駐車場も使うことができるのではないか。
- ・計画施設から道の駅までの新しい道路は作ったほうが良いと考えるが、井原水産側の道路を使っている人を見たことがないことから、公園内を突き抜ける必要はなく、線路に近い側に作るのでは良いのではないか。

【駐車場配置について】

- ・旧駅前広場はまちの顔として広場にし、バスタッチ、タクシー乗り場、車寄せの場所にすると、道の駅と連携したイベントの開催も可能になる。職員駐車場としているところは施設利用者との兼用駐車場とすればよいのではないか。

■その他

- ・社会教育施設の代替施設でないという前提を、市民に対しても齟齬が起きないように説明する必要がある。
- ・庁内検討会議における検討内容についての早期の情報提供が必要。
- ・市民公募委員は代理出席ができないことから、Zoomでの参加可能性についても検討してほしい。

■ホール機能について

【配置について】

- ・ホールが2階にある場合、搬出入をエレベーターで行うことになるが、時間がかかる。大きなコンサートや演劇の際は不満の声が上がると思う。
- ・使い勝手やコストを考えると、ホールを1階に整備することも考えられる。
- ・搬出入の際に、冬場の雪を考慮してトラックヤードを設計する必要がある。
- ・市民が使いやすい施設がコンセプトであり、津波・洪水対策にこだわりすぎて、使い勝手が悪くなるのは良くないのではないか。

【座席形式について】

- ・大ホールのほかに平土間形式の多目的ホールも整備するが、平土間形式のホールを複数整備する必要があるのか。
- ・可動席の場合は、使い方に制約が出たり、メンテナンス等でランニングコストが高くなる場合があるのではないか。
- ・固定席と可動席のメリット・デメリットを整理して提示する必要がある。

【運営方法・使い方について】

- ・にぎわい創出に向け、どのような使われ方をして、どのようにしたら市民が来るのかという議論を並行して行う必要がある。
- ・現状の文化センターは学生や幼稚園の無料利用が多い。指定管理者等が主体となってイベントを誘致する方向に舵を切らないと、それ以外の利用は増えづらい。
- ・稼ぐ施設にするのか、もしくは市民が使いやすい、稼働率を上げる施設にするのかなど、目的によっても考え方が変わってくる。
- ・有料利用のみでもなく、また無料利用のみで稼働率が高い施設でもなく、両方のバランスの良い施設が良いと考える。
- ・舞台技術は専門性が高くハードルが高い。東神楽はプロが音響設備を持ち込む。そうになると、搬出入が課題になるが、基本的にはプロに任せた方が良い。その前提でホールの階数も考えることになる。
- ・固定席であれ、可動席であれ、音響の部分は設計段階からしっかりと考慮する必要がある。
- ・市や民間団体が主体となってイベントの企画運営を行うことは留萌市では難しいのではないか。